

# MUSASHI ムサシサステナビリティ SUSTAINABILITY

## 持続可能な地球 社会の実現へ、 私たちは全力で 挑む

ムサシフィロソフィーを基軸とした事業展開を通じて、持続的な成長とサステナブルな社会の実現に貢献

ステークホルダーとのコミュニケーション



ムサシフィロソフィー

**Purpose**  
(使命)

わたしたちは、テクノロジーへの“情熱”とイノベーションを生み出す“知恵”をあわせて、人と環境が“調和”した豊かな地球社会の実現に貢献します

**Way**  
(行動指針)

「ムサシフィロソフィー」は、ムサシで働く全ての従業員共通の価値観であり、企業活動や個々の行動の基軸として根付いています。当社は、事業活動を通じて持続的な成長とサステナブルな社会の実現に貢献することを使命としてOur Purposeを制定し、その実現に向かう旗印としてムサシ100年ビジョン「Go Far Beyond!」を掲げました。既存の枠組みを壊し、社会から存在を必要とされる「エッセンシャルカンパニー」となることを目指しています。

**Origin**  
(創業の精神)

事業展開においては、ステークホルダーとのコミュニケーションを通じて認識した期待・要請や社会課題をVision, Purposeと照らし合わせ、私たちが果たすべき重要課題(マテリアリティ)を特定しています。「コア事業の深掘り」と「新事業の創出」によって新たな価値を創出することでマテリアリティに取り組む。すなわち事業活動そのものを通じて社会課題の解決に貢献することが、当社のサステナビリティへの取組み姿勢です。

ムサシ100年ビジョン

**Go Far Beyond!**

枠を壊し冒険へ出かけよう!

テクノロジーで社会を支える「エッセンシャルカンパニー」へ

事業の方向性

**コア事業の深掘り**  
ものづくりの技を磨き電動化時代のキーデバイスサプライヤーへ

**新事業の創出**  
オープンイノベーションで社会課題の解決に貢献する新価値を創造

## MATERIALITY マテリアリティ (重要課題)

特定プロセスと取締役会の関与

STEP 01

課題の抽出

社会的な基準やガイドラインを参考にして、主にSDGsの17の分類に沿って、36の課題を抽出しました。

STEP 02

重要性の評価

「ステークホルダーにとっての重要度」と「ムサシグループにとっての重要度」の2つの視点から優先順位を付けマッピングしました。

STEP 03

検証・特定

マッピングした項目をSDGsの課題に当てはめ、重要項目を特定し、取締役会にて検討し決定しました。

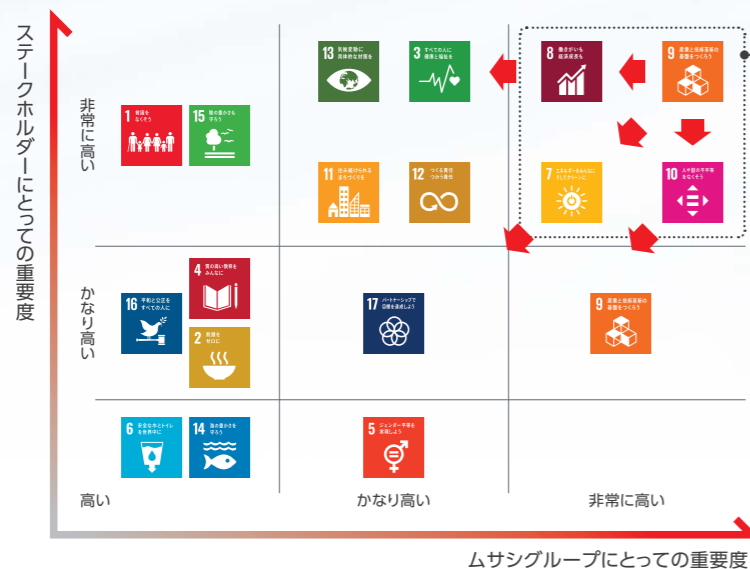
STEP 04

具体的な指標

検証した重要課題案について、具体的な指標・施策に落とし込みました。

「ムサシフィロソフィー」を基軸に、今ムサシに何ができるのか、どの分野に注力すべきかを分析し、経営上の重要課題(マテリアリティ)を特定しました。

マテリアリティの特定



抽出した36の課題を2つの視点の重要度でマッピングし、事業との関連性や他テーマとの連鎖性を考慮した結果、一つの大テーマを元に3つの方向性を見いだしました。

社会からの期待と要請を踏まえ、バリューチェーンを含む事業の特性を考慮しながら優先テーマを選定することで、ステークホルダーとの共通理解を深め、サステナビリティへの取り組みをより効率的に推進していきます。

TOP PRIORITY ISSUE

サステナブルな次世代社会システムの創出

9

SECOND PRIORITY ISSUE

働き方の改革と生産性の向上

8

持続可能なエネルギーの創出

7

ダイバーシティとインクルージョンの推進

10

背景となる社会課題  
全世界的な労働人口が増加する一方で雇用機会は不足。雇用の質の悪化や貧困拡大が進む

30億人の人々が料理と暖房を木、石炭、炭、動物の廃棄物に依存。温室効果ガス発生で温暖化進行。

貧富の格差が拡大。その背景として人種・民族・性別等による就労機会の不平等が存在。

なぜムサシが取り組むのか  
グローバル企業として雇用の質を確保する責任。経済・社会基盤の安定は企業としての発展に必要。

二酸化炭素を大量に排出する自動車産業としての責任。事業継続には地球環境の継続が大前提。

グローバル企業としての責任。事業成長のための人材確保。それぞれの従業員の個性発揮による企業成長への貢献。

経済成長の基盤確立

P17

サステナブルなエネルギーシステム

P29

多様な働き方の実現 雇用の質の向上

P31